

## Press Release( H28/11/25 )

### 日本学術会議中部地区会議「学術講演会」を開催 —テーマは「生命・環境・ものづくり 基礎科学からの発信」—

このたび、日本学術会議中部地区会議が本学を会場として開催されるにあたり、日本学術会議中部地区会議と共催で、下記のとおり学術講演会を開催します。

本学は、教育の基盤としての質の高い研究活動をそれぞれの分野で着実に実践しており、その中でも本学の強みである生命科学分野、環境科学分野、ものづくり分野においては、独創的な研究領域の先進的研究拠点形成を目指し、一層努力しています。

本講演会では、その成果の一部を紹介します。

については、当日の取材についてよろしくお願ひします。

#### 記

- 1 日 時: 12月2日(金) 13時~16時
- 2 場 所: 岐阜大学全学共通教育講義棟1階 多目的ホール
- 3 対 象: 一般(入場無料)
- 3 内 容:

日本学術会議は、科学が文化国家の基礎であるという確信の下、行政、産業及び国民生活に科学を反映、浸透させることを目的として、昭和24年(1949年)1月、内閣総理大臣の所轄の下、政府から独立して職務を行う「特別の機関」として設立されました。

また、日本学術会議は、地域の科学者と意思疎通を図るとともに学術の振興に寄与することを目的として、北海道、東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州・沖縄の7つの地区会議を組織しています。これらの地区会議は、地域の求める情報に即したテーマを設

定した学術講演会の開催や科学者との懇談会，地区会議ニュースの発行などを行っています。

今回岐阜大学では、「生命・環境・ものづくり 基礎科学からの発信」と題した学術講演会を開催します。3名の講演者とタイトルは、日本学術会議会長・大西 隆氏「「オープン化」時代の科学研究－世界の動きと日本の課題」、岐阜大学応用生物科学部教授・小山博之氏「植物の酸性土壌耐性機構：世界の食糧問題を解決する鍵形質」、同大学工学部教授・安藤 香織氏「アルケンの立体化学を制御する」です。本講演会は、学術研究の成果を市民の方々に伝え、また学術研究のあり方をともに考える場でもあります。多くの市民の参加をお待ちします。

(※詳細は別紙ポスターをご覧ください。)

**【本件に関する問い合わせ先】**

岐阜大学学術国際部研究支援課

課長補佐 佐藤 忠 (さとう ただし)

TEL : 0 5 8 - 293 - 3344 (直通)

E-mail : gjai04010@jim.gifu-u.ac.jp